



ふと目覚めたら春 156×204cm 2007年「メッセージシリーズ」

皆川末子 Minakawa Sueko

続 布絵の世界展

2008年2月10日|日|～3月31日|月|

10:00～20:00 ※最終日は17:00にて閉場させていただきます。

岐阜シティ・タワー43 1階 特設展示会場 ◆入場無料◆

1月の展示で15,000人ももの来場者を動員した皆川末子さんの布絵。その反響や感動の輪の広がりには驚くばかりです。そこで今回、続編を緊急に企画。本展では、5mを超える巨大な布絵をはじめ、初登場の作品群も多数展示いたします。日本の古い貴重な布や着物を使って表現したオリジナル・アートの世界を再びご堪能ください。

●オリジナルポストカード(1枚=税込150円)もさらに充実して販売いたします。

大好評につき、第2弾。新たな作品群も展示。もう一度、感動してください。

ACTIVE WORLD DESIGN CITY

GIFU CITY TOWER43

布絵は日本画。懐かしくて新しい。感動を再びお届けします。

皆川末子

続 布絵の世界展



巨大布絵として話題を呼んだ作品を特別展示。 金太郎と十二支 280×540cm・1993年「おとぎ話シリーズ」



赤い絨帯
170×190cm・2003年「無言色シリーズ」



角兵衛獅子三人
148×200cm・1999年「日本舞踊シリーズ」



心は若手の芸術家、作品は伝統文化の継承と保護の推進、そして活動は地域間の交流促進。それが、今の私の想いです。

皆川末子 Minakawa Sueko

1947年 茨城県水戸市生まれ。

幼少の頃より絵心を持ち、高校時代には東京へ通い、デザインの勉強をする。結婚後、布で絵を描くことを発想し、日本の古布で日本画を描く独自の世界「布絵」の制作活動を始め、今や作品総数は170点を超える。

国内だけでなく、オランダやハンガリーといった海外でも作品展を開催し、大きな反響を呼ぶ。「布絵」による国際交流の輪の広がりにも貢献している。

現在は個展の開催・制作活動のほか、「布絵」の技術を後生まで残していこうと布絵の指導や古布の保存活動にも力を入れている。

布絵とは

日本画の下絵を描き、顔料(絵の具)の代わりに日本の古い布(着物・帯・手拭いなど)を使用して情景や人物などを表現していくもので、茨城県・水戸市在住の作家皆川末子さん考案による手法です。パッチワークや手芸とは違うその独自の世界は、NHKやキルト雑誌でも取り上げられ、個展でも高い評価を得ています。



皆川末子公式ホームページ「布絵の世界」 <http://www.nunoe.com/>

作家在廊日

布絵作家・皆川末子さんが来場し、会場で布絵のことや作品の解説をいたします。

2月23日(土) 14:00~18:00 / 24日(日) 10:00~16:00

3月15日(土) 14:00~18:00 / 16日(日) 10:00~16:00

※日時は都合により変更する場合がございます。ご了承ください。

■主催 岐阜シティ・タワー43/アクティブG
■後援 財団法人 岐阜県産業デザインセンター
■企画 HEADROOM/Project NUNO-E
■お問い合わせ先 岐阜シティ・タワー43運営室
〒500-8856 岐阜市橋本町2-52 TEL.058-213-5043
営業時間 10:00~20:00(飲食/11:00~23:00)
※一部店舗により異なります。

駐車場割引サービス

1~24階の対象店舗にて1店舗でのお買い上げ2,000円ごとに
岐阜市駅西駐車場 または
岐阜シティ・タワー43地下駐車場 1時間無料

●上層は2時間分まで ●複数店舗の合算はできません
●ご利用店舗にて必ず駐車券をご提示ください
※店舗する場合がございますので、できる限り公共交通機関をご利用ください。

